



山王小だより

男子217名 女子195名 計412名

令和6年10月25日(金)
狭山市立山王小学校
学校だより NO.23

運動会直前号

校長 市川 博康

1 明日はいよいよ運動会 ～天気だけが心配です～

明日は、いよいよ運動会です。天気がとても心配で、2週間前から週間予報ばかり見えています。子供たちの練習を見ていると、運動会が行われれば、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮してくれること間違いありません。



2 観覧場所を見童席後方に増やしました。

本年度から見童席後方からもご覧いただける場所（立ち見）を下図のように増やしました。しかし、**正面はあくまでも朝会台（本部テント側）前です。演技、競技によっては、見童席側に体を向けない場合がございますので、お子様や学年だより等で確認ください。**



3 運動会のポスターを作成しました。

風の子学級の3年～6年生の子供たちが運動会用のポスターを制作してくれました。図工の時間に「ステンシル版画」という技法で作りました。

ポスターを見ている子供たちからは「じょうずだね～」という声とともに「明日、緊張するね」という声があがっていました。



4 各学年、団体競技の見所



団体競技は、勝ち30点、負け10点、引き分け20点と得点が入ります。勝ち負けにこだわるからこそ、作戦を立てようとみんなで考えたり、失敗した時に友達を思いやる心を学んだりします。学年等の団体競技の見所を紹介いたします。

★1年生（プログラムNO.5）チェッコリ玉入れ 【玉入れ&ダンス】

チェツチェッコリー♪チェッコリ♪音楽に合わせて腰をフリフリ踊ります。笛の合図で玉入れ開始です。そしてまた、チェッコリのダンスを踊り、玉入れします。これを繰り返します。子供たちのかわいいダンスと、入りそうで入らない玉入れに注目です。当初は、青団（2組）が優勢でしたが、その後は、赤団、青団が勝ったり負けたりと、1年生なりの作戦を練り、勝敗は拮抗しているようです。



←ダンス

↑入場



玉入れ→



★2年生（プログラムNO.7）デカパンリレー

二人組で大きなパンツを着脱し、二人で協力して走ります。ほとんどの子供たちは、ニコニコと笑顔で走っていました。競技の前に「ファイトコール」をして気合いを入れます。



★3年生（プログラムNO.3）山王渦潮レース

「棒が来たぞ〜」「まっすぐ並べ〜」「しゃがんで〜」子供たちの叫び声が聞こえます。4人一組で棒を持ちながら直線を走ります。クラスの足下→頭の上を通し、次の走者につなぎます。『協力』『力強さ』『冷静さ』が求められる団体競技です。



★4年生（プログラムNO.6）山王竹取物語【棒引き】

入場⇒棒体操⇒棒引き（3回戦）行います。たくさんの棒を取り合います。先日の練習では、1組が優勢でした。練習時と運動会当日では、違う結果が出るのが小学校です。腰を低くしたり人数が少ない所に取りに行ったりと作戦によって勝敗が決まります。



★5年生（プログラムNO.4）ギリギリ綱引き～はい勝利のために～

綱を引いている同じクラスの人を綱を走って助けに行き、綱を引っ張ります。速く走ることができれば、助ける人が多くなり優位となります。一回戦、二回戦はお助け綱引き。三回戦目は、普通の綱引きとなります。昨日の練習では、力が拮抗していました。



作戦会議中

★6年生プログラムNO.8 全員リレー

3レース行います。第1走は、セパレート、第2走からはオープンコースで走ります。右手でもらい左手で渡すこと（右手→右手はぶつかる、左手→右手遠回り）や、距離を長く走る人、短く走る人などバトンゾーンの使い方、流れるようなバトンパス、チーム分けや、走順等が作戦のカギとなります。



★応援合戦（プログラムNO.2）

各応援団長と応援団の威勢のよい声に合わせて、競技・演技する前に士気高揚のために応援合戦を行います。練習では両団とも迫力のある応援をしていました。



★プログラムNO.12 団対抗リレー

1年生から5年生各クラス男女2名ずつ、6年生は4名の代表が走ります。学校の代表として、スムーズなバトンパスが見所です。



★団対抗大玉送り（最終種目）

全校赤団、青団に分かれて大玉を頭の上で前から後ろへ、後ろから前へと一往復します。2回戦行います。各団6年生4名が両脇で大玉が横へ落ちないように補助します。大玉が地面に着いた時点で、その場所からやり直しです。先日の練習では、赤団が勝っていましたが、運動会当日の雰囲気や一人一人のやる気で勝敗は変わります。どうなるか楽しみです。

